

こんげつ ひとこと
～～～今月の一言～～～

ひっしやめい おおにし
筆者名 大西

さだまさしさんの^{うた}歌に、「^{かぜ たつ}風に立つライオン」という^{きょく}曲があります。^{かいがい かつやく わか}海外で活躍する若い
^{いし がんば}医師の、^{けつい}頑張ろうという^{きも}決意と^{うた}さよならの^{きょく}気持ちを^{ちどりがふち よざくら ぼく み}歌った曲です。^{うた}千鳥ヶ淵の^{よざくら}夜桜を^{ぼく}僕は見
^{よぞら}たことはありませんが、^{した つき さくら いけ}夜空の下の^{けしき}月や桜や池の^{め う}景色が^{うた}目に^{うた}浮かぶようなどとてもいい歌だ
^{おも}と思います。

^{うた しゅじんこう}この歌の^{ぼく わか}主人公のように^{おな}僕は^さ若くもありませんが、^{こと}同じように^{こと}去っていく^{こと}事になりました
^{ひとり かぞ}1人では^{おお おも}数えられないぐらい^で多くの^{しんじゅくふくさく けいけん}思い出とともに、^{きじゅん}新宿福作での^{きじゅん}経験はひとつの^{きじゅん}基準と
^{つぎ い さぎょうしょ}なって、^{おお}次に行く^{まな}作業所でも^{おも}多くのことを^{おし}学ばせてくれるのだと思います。^{おし}皆さんから^{おし}教え
^{あたらし ぼしよ い}られたことが^{おも}新しい^{おも}場所でも^{こころづよ かん かんしゃ きも}生きてくるのだと思うと、とても^{おも}心強く^{おし}感じ、^{おし}感謝の^{おし}気持ち
^{おし}でいっぱいになります。

センターの^{さくら き ころ}桜も^{は ひ りようしゃ く}咲く頃になりました。^ま晴れた日に^ま利用者さんが^ま来るのを^まそこで^ま待って
^{おも}いたことを^{おも}思い出します。^{いろいろ きも ふく}色々な^{さくら}気持ちを^{きれい}含みながらも^さ桜というものは^さ綺麗なもので、^さ去っ
^{みおく く ひと むか}ていく人を^{あたた}見送り、^{あたた}来る人を^{あたた}迎えてくれる^{あたた}温かい^{あたた}ものです。^{はな み}この花を^{あたた}見るたびに^{あたた}皆さんが、
^{か こ}過去の^{できごと}出来事を^{なつか}懐かしく^{おも}思い出し、^{あたらし}新しい^{できごと}出来事も^{たの}楽しみをも^{むか}って^{ねが}迎えられることを^{ねが}願っ
^{なが}ています。^{あいだほんとう}長い間^{せわ}本当にお世話になりました。^{りょこう あ}それではまた、^{りょこう}旅行で^あ会いましょう！